

(電子メール施行)
農技第 1 1 4 5 号
平成 30 年 6 月 4 日

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察防除情報 第 2 号 を下記のとおり発表します。防除指導等の参考としてご活用下さい。

果樹カメムシ類の発生がやや多い傾向にあります。園地での発生状況を観察し、必要に応じて防除するようご指導願います。

平成 3 0 年度 病虫害発生予察防除情報 第 2 号
果樹カメムシ類の発生状況と防除対策について

- 1 対象作物 果樹類 (ナシ、リンゴ、ウメ、モモ、カキ、カンキツ等)
- 2 病虫害名 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ等)
- 3 発生地域 県下全域

4 発生状況と今後の予想

チャバネアオカメムシ等の果樹を加害するカメムシ類は、園地への飛来が多い年 (表年) と少ない年 (裏年) を繰り返す傾向が強く、本年は表年に該当する。加西市に設置しているフェロモントラップ調査 (チャバネアオカメムシ用) への誘殺数は、4 月 1 半旬 ~ 5 月 5 半旬までの合計誘殺数が 280 頭であり、通年の過去 5 年の平均値 (90 頭) より多いが、表年の過去 5 年の平均値 (257 頭) と比較すると同程度である (図) 。向こう一か月の近畿地方の気象予報では、気温は平年より高く推移すると予想されており、果樹カメムシ類は、気温 (夜温) が高くなると活動がさかんになることから、園地での被害に注意が必要である。

5 防除対策について

- (1) 飛来状況は地域や園地で異なるため、園地の見回りを実施し、発生や被害を認めたら速やかに防除する。山林に近い園地では飛来数が多いのでとくに注意する。
- (2) ナシやモモなどの幼果被害を防ぐため、有袋栽培では袋かけ作業を遅れないように実施する。
- (3) 発生の表年であり、夏以降の次世代成虫の飛来も多くなる可能性が高いため、薬剤防除等すみやかに対応できる準備をし、今後発表される発生予察情報な

ど各種情報に留意する。

- (4) 薬剤散布を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。なお、合成ピレスロイド剤は防除薬剤として効果が高く残効もあるが、天敵昆虫に対する影響が強くハダニ類など他害虫が多発生するおそれがあるため、使用にあたっては他の害虫の発生状況にも十分に考慮する。

(<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

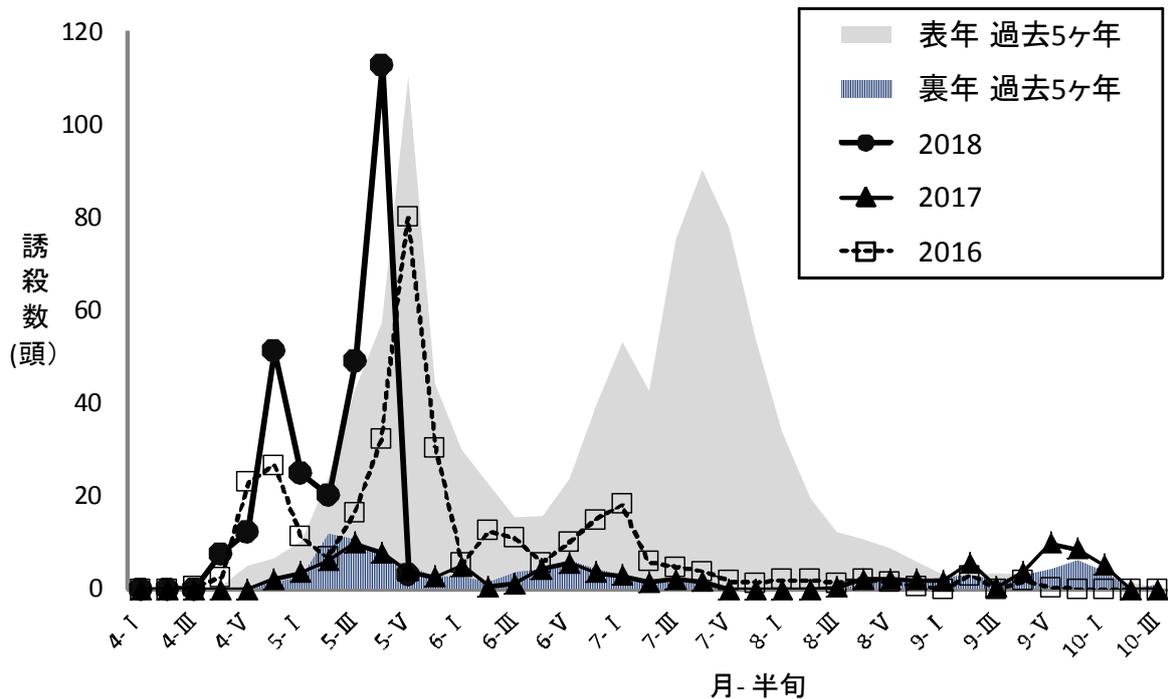


図 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数（加西市）

*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病虫害防除所 0790-47-1222